

## 医学研究に関する情報公開および研究協力へのお願い

福井県済生会病院薬剤部では、臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学研究を実施しています。こうした研究では、対象となる方に関して既に存在する試料や情報、あるいは今後の情報や記録などを調査しますが、対象となる方にとって新たな負担や制限が加わることは一切ありません。このような研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。ご自身の情報や試料を研究に使用してほしくないという場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」へご照会ください。研究への参加を希望されない場合、研究結果の公表前であれば、研究期間内にご連絡いただいた時点より対象から除外いたします。なお研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありませんのでご安心ください。

【研究課題名】 高度栄養不良症例への介入による電解質の変化

【研究期間】 福井県済生会病院 臨床研究審査委員会承認日～2025年1月31日

【研究の目的】 リフィーディング症候群ハイリスク高度栄養不良患者のリスクの一つである電解質異常（カリウム、リン、マグネシウムの低下）を栄養サポートにより回避、是正できていたかを確認。

【研究の内容】

1. 研究の対象となる方 2024年4月1日から9月30日に入院した患者のうち高度栄養不良と判断され、リフィーディング症候群予防フローを用いて栄養介入された方。

2. 研究に用いる試料・情報

年齢、性別、身長、体重、診断名、血液検査（リンパ球数、アルブミン値、K、P、Mg、AST、ALT、eGFR、Scr、BUN）、摂取栄養量、治療後の転帰、使用薬剤（栄養輸液、K補充薬、P補充薬、Mg補充薬、ビタミンB1）の薬剤

3. 研究の方法

電子カルテを用いて過去の情報を確認して調査。ASPEN Consensus Recommendations for Refeeding Syndromeを参考にしたリフィーディング症候群ハイリスク患者を評価、選別した患者様のデータを抽出し、栄養治療の内容、電解質（K、P、Mg）の推移を確認。また、有害事象としてAST、ALTの推移も確認。NSTが栄養支援を行っていたリフィーディング症候群ハイリスク患者の転帰について調査し、効果や問題点の抽出を行う。

【当院における研究責任者】

福井県済生会病院 薬剤部 堀田栄治 薬剤師（主任）

【本研究に関する問い合わせ窓口】

○問い合わせ窓口

〒918-8503

福井県福井市和田中町舟橋 7-1 福井県済生会病院 薬剤部 堀田栄治

電話：0776-23-1111（代表）